

アメンボのひみつ2

那覇市立銘苅小学校

2年 宮國理也

1. どうき・もくてき

(1) どうき

- ①1年生のときにアメンボのけんきゅうをしたけど、もっとしらべたかったから。
- ②いろいろなしゅるいのアメンボをつかまえてみたいとおもったから。
- ③なぜアメンボは水の上にいる、はやくおよぐことができるのかしらべたかったから。

(2) もくてき

- ①おきなわのいろいろな場しよで、いろいろなしゅるいのアメンボをつかまえて、そのとくちよをしらべる。
- ②アメンボがなぜ水の上にいることができるのかをしらべる。

2. ほうほう・ないよう

(1) いろいろなしゅるいのアメンボをつかまえてかんさつする。

- ①ざいりょう：虫とりあみ（川よう）、虫ケース
- ②ほうほう
 - ・おきなわほんとうのいろいろなところについて、アメンボをつかまえる。
 - ・つかまえた川や池のようすをしらべる。
 - ・ずかんなどでつかまえたアメンボの名前をしらべる。
 - ・家でつかまえたアメンボをそだてて、かんさつする。

(2) アメンボがどうやってういているのかをしらべる。

- ①ざいりょう：虫ケース、さとう、しお、たんさん水、ジュース、あぶら、せっけん水、けんびきょう、モール、ぼう水スプレー
- ②ほうほう
 - ・どんなえき体でうくかしらべる。 ・けんびきょうでみる。 ・本でしらべる。
 - ・モールで作ったアメンボに、ぼう水スプレーをかけて、ほんもののアメンボと同じようにうくか、じっけんする。

3. けっか①（いろいろなしゅるいのアメンボをつかまえてかんさつする）

○けんそうごううんどうこうえん（6月23日）

- ・つかまえたアメンボ：アメンボ
- ・場しよのようす：とても大きな公園で、みどりが多い。広い池には、コイなどの大きな魚がいたけど、アメンボはいなかった。近くの小さな川にアメンボや小さい魚がいた。水はきれい。

※わかったこと

アメンボはふかくて大きな魚がいるところにはいない。大きな魚に食べられるからだと思う。

		
ふかくて大きな池 (アメンボはいなかった)	アメンボがいた小さな川	つかまえたアメンボ

〇おきなわけんそうごうきょういくセンターの池（7月17日）

- ・つかまえたアメンボ：ハネナシアメンボ
- ・場しよのようす：小さな池や大きな池があつて、大きな魚もいたけど、そうごううんどこうえんほどたくさんはいない。まわりにたくさんの木や花がある。池の水は少しにごっている。

※わかつたこと

- ・ハネナシアメンボは、はねがない。
- ・大きさは8mmくらい。
- ・中足と後足がおしりのほうについている。

		
きょういくセンターの池	ハネナシアメンボ	かくだいしゃしん

〇きん町おく首川（7月22日）

- ・つかまえたアメンボ：ウミアメンボ
- ・場しよのようす：広い川で、海につながっている。近くにマングローブがあつて、カニがたくさんいる。大きな魚も小さな魚もたくさんいる。川は、にごっていた。

※わかつたこと

- ・ウミアメンボは、動きがはやい。魚に食べられないために、はやくうごいているとおもう。
- ・大きさは6mmくらい。
- ・ウミアメンボも中足と後足がおしりのほうについている。からだにくらべて、足が長いから、はやく動けるのだと思う。
- ・つかまえたときは白かったけど時間がたつと黒くなった。

		
おく首川	つかまえたばかりのウミアメンボ	かくだいしゃしん

○おんな村けんみんの森の川 (10月8日)



- ・つかまえたアメンボ：シマアメンボ
- ・場しょのようす：山の中で、しぜんがいっぱい。リウキュウハグロトンボというめずらしいトンボもいた。川もととてもきれい。



※わかったこと

- ・しまのようなもようがある。
- ・大きさは5mmくらい。
- ・シマアメンボも中足と後足がおしりのほうについている。おしりのほうが細くつきでている。

		
けんみんの森の川	シマアメンボ	かくだいしゃしん

3. けっか② (アメンボがどうやってういているのかをしらべる)





		
さとう水→うく	しお水→うく	たんさん水→うく
		
ジュース→もぞもぞして おなかがつく	あぶら→足がのびておなかがつく	せっけん水→しずむ

	
けんぴきょうでみているところ	アメンボの足→毛が生えている

※わかったこと (こうさつ)

- ・ベタベタしたえき体は、うくことができない。
- ・アメンボの足には、たくさんの毛が生えていて、本でしらべると、足からあぶらがでていて、ぬれないようになっているということがわかった。
- ・ベタベタしたえき体は、毛がくっついてうくことができないと思う。
- ・せっけん水は、あぶらがとれて、うくことができないと思う。

○モールで作ったアメンボのモデルでじっけん

			
水 (ぼう水スプレーなし) →しずむ	水 (ぼう水スプレーあり) →うく	あぶら→しずむ	せっけん水→しずむ

4. こうさつ

- ①4しゅるいのアメンボをつかまえることができた。それぞれ、すんでいるところがちがう。ウミアメンボは、海と川が繋がっているところにいる。シマアメンボは山のようなしぜんが多いところにいる。ふかい池や大きな魚がいるところには、アメンボはいない。少し水がにごっていても、すむことができるアメンボもいる。
- ②アメンボは、バッタなどの虫を食べる。ストローのような口を虫にさして、すっていた。2週間ぐらいかっていると、赤ちゃんがうまれていた。
- ③アメンボの足には、毛が生えていて、あぶらでおおわれているので、うくことができる。ベタベタしたきたないところやせっけん水がながれてくるようなところでは、生きていけない。アメンボがすめるきれいな川がふえるといいなと思う。
- ④モールで作ったアメンボのじっけんでも、ほんものとおなじけっかになった。
- ⑤いろいろなしゅるいのアメンボをつかまえて、じっけんしたりしてたのしかったけど、「なぜみずのうえをはやくうごけるのか」と「どのアメンボがはやいか」しらべてみたい。アメンボは思い通りに動かないので、ロボットのもけいなどを作って、しらべてみたい。

5. けんきゅうせいのかのはっぴょうのきろく

那覇地区小学校科学作品展 銀賞